

コロナ禍の中、先生も勉強

教育委員会と連携し探究型の理科研修をオンラインにより実施

大阪教育大学は、教育イノベーションデザインセンターが中心となり、大阪青山大学、和歌山信愛大学、京都産業大学、東北大学の教員らの研究グループと連携し、近隣自治体と毎年行っている小学校教員を対象とした理科実験研修を遠隔でも実施できるようeラーニングプログラムを新たに開発しました。本プログラムは、令和2年度より実施された新学習指導要領が示す、新しい理科の学力観に対応し、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を重視した課題探求型プログラムで構成しています。11月25日～1月12日には、八尾市教育委員会と連携し、市内の小学校教員を対象に、本プログラムを用いたオンデマンド研修「理科の学びを学ぶ」を実施します。研修期間終了後は教材をウェブサイト公開し、教員の継続的支援をめざすこととしています。

・実施概要

この研修は毎年8月、本学の教育イノベーションデザインセンターと近隣地域が連携し、小学校教員の理科指導力向上のために、課題探究型ワークショップを取り入れた実験研修として実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により対面での研修が実施できなくなりました。それに代わるものとしてオンデマンド型の遠隔研修プログラムを開発しました。開発に当たっては、単なる講義動画の視聴でなく、科学的な問題解決の過程を体験できる課題探求型の研修プログラムとしました。

具体的には、7つの水溶液の入ったボトルを用意し、その水溶液の正体を実験により明らかにするため、実験計画の作成、その計画にのっとり実験の動画を閲覧し、観察記録を作成し、水溶液の正体を明らかにしていくものです。実施には、広範な環境で利用できる、G Suite for Education を利用します。

また、オンデマンド型の研修とすることにより、多忙な教員が校務の間に自分のペースで少しずつ学ぶことが出来ます。

・授業の開催概要

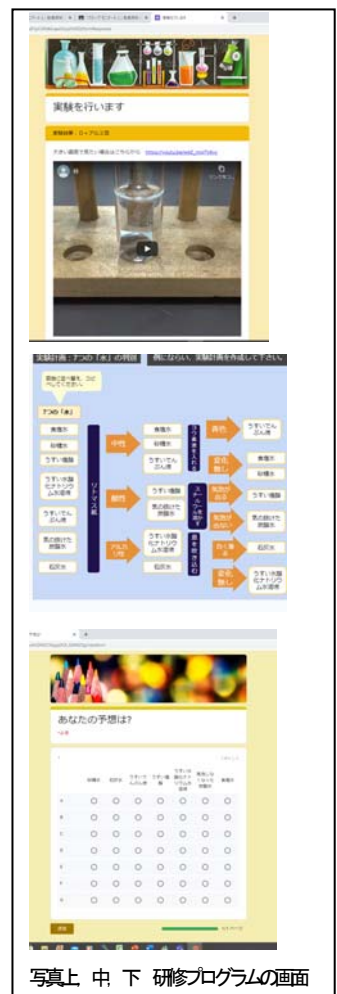
日時：2020年11月25日（水）～ 2021年1月12日（火）

会場：八尾市立学校

内容：オンデマンド型の理科研修 「理科の学びを学ぶ」

参加者：八尾市立学校教職員 31名

連携先：八尾市教育委員会 担当：八尾市教育センター 瀬賀 友加里



写真上 中 下 研修プログラムの画面

【問い合わせ先】

・大阪教育大学教育イノベーションデザインセンター

講師 安積（あさか）典子

メール：asaka@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

・大阪教育大学総務課広報室 中野

TEL:072-978-3344 FAX:072-978-3225

メール：kouhou@bur.osaka-kyoiku.ac.jp